



う て な

A i o i

■ あいさつ

■ 活躍する同窓生

■ 母校だより

■ 事務局より



同窓会総会

2023年 8月19日(土) 16:00~ 場所:相生高校会議室

2023年8月19日に同窓会総会を開催いたします。どなたでも参加できますので、卒業以来、相生高校へ来られたことのない方も、この機会に懐かしい母校にお立ち寄りください。そして同窓会活動へのご意見をお聞かせください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。ただし、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催の形態を変更することがあります。来校される前に相生高校ホームページをご確認ください。



相門会のみなさまへ

相門会会長 芦谷 得夫（1回生）

長引くコロナ禍に加えウクライナ問題や東アジア情勢など先行き不安になることが多く起きています。人の様子も、ネット炎上に見られるように無責任な主張の言い合い、個々の正義を振りかざし異なる意見を尊重しない風潮など寛容性が乏しくなったと感じます。社会の中でもデジタルの活用が急速に広がっています。利便性はアップしますが、人と人の温度を感じる人間関係はどんどん敬遠されていっています。住みやすい社会生活には人と人の温かいつながりが不可欠だと思います。日本はどこに向かっているのだろうと不安を覚えるのは私だけでしょうか。

さて、本年度もコロナ禍のため、広く総会の案内をせず本部役員を中心に、令和3年度決算、令和4年度予算・事業計画等について慎重にご審議いただき、ご承認いただきました。その中で話題として挙げられたことが、本部役員体制についてでした。多くの本部役員が卒業以来長きにわたって会の運営に携わってくださっている現状があります。特に私は、30年以上にわたって会長を務めさせていただいており、ある意味望ましくない状態と言えます。私の運営の不手際であると深く反省するところです。

同窓会活動の中核は、卒業時に学級から選出する幹事2名と、その幹事の中から選ぶ2名の学年代表幹事（常任幹事）そして、本部役員となります。幹事や常任幹事の皆様には学年の同窓会活動の取りまとめや会全体の運営に携わっていただくことになっています。会の運営の中核は、幹事であり常任幹事です。しっかりとした同窓会組織とするためには幹事や常任幹事様のお力が不可欠です。今後は、お力を貸していただきやすい運営にかえていかなければならないと強く感じています。

具体的には、コロナ禍により途絶えていますが、総会の案内を常任幹事に個別に送らせていただきます。また、幹事や常任幹事という体制がうまく機能するように幹事会や常任幹事会と本部が情報共有や意見交換できる場を設定したいと考えています。しかし、生活圏が全国に広がっている為会議に参加しにくいという現状があります。そこで、リモートによる会議ができるように環境を整備していきたいと思っております。

もうすぐ創立50周年という大きな節目を迎えます。県下では、高等学校の整備再編計画が進められています。歴史の浅い学校と歴史の長い学校が統合された例もあります。本校は歴代の校長先生方のご尽力でこれまで整備再編を免れてきておりますが今後も安泰というわけにはいかないでしょう。そのためにも同窓会組織をしっかりとしたものにしていくことは急務です。どうぞ皆様のお力をお貸しください。

あ

い

さ

つ

2022 DEC. | utena | vol.26



強い心を持ち、豊かな人間性と感性を有する人に！

校長 栗林 秀忠

相門会会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より母校に対しまして、物心両面にわたり多大なるご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス第7波の勢いが、依然として凄まじい中で2学期の始まりとなりました。本年度は、ウィズコロナのもと、ほとんどの教育活動を3年前の状態に戻しながら実施しています。教職員や生徒の皆さんの感染予防への高い意識により、学級閉鎖や臨時休校等に至ることなく無事1学期を終え、2学期を迎えることができました。ただ、学校行事等では、昨年に引き続き無観客での開催としており、会員の皆様に後輩達の活躍を参観していただけない状況が続いていますこと大変申し訳なく思っております。しかし、生徒諸君は6月の相高祭や9月の体育大会を、完成度の高いとても素晴らしい行事に仕上げるとともに、友人やクラスの中で切磋琢磨する貴重な経験を得られたようで、大きく人間的成長を遂げてくれたのではないかと感じています。改めて相高生の素直さ実直さ熱心さを感じることができました。

さて、本校は今年で創立46年目を迎えました。制服（プレザーやネクタイの導入）の変更により生徒の雰囲気も大きく変わり

ましたが、その他、18歳成人による主権者教育と消費者教育の実施、新学習指導要領の実施（探究活動を重視）と観点別評価（ABC評価）の導入、BYOD（一人一台端末環境の整備）の導入等により、高校の現場は大きな変革期を迎えています。また、「兵庫県立高等学校教育改革第三次実施計画」の推進が打ち出され、本校の自然科学コースの令和7年度募集停止も決定されました。コース改編については、新学科の設立か、発展的な特色類型への変更かの議論を今後重ねていくこととなります。

今後の教育は、進学率や難関大学進学実績だけでなく、それ以上に「ソサイエティ5.0」社会や「VUCAの時代」（不確実で変動的、かつ複雑で曖昧な時代）を生き抜いていくために、自ら問いを立て、高い探究心のもと、仲間と協働して課題を解決していく力を有し、競争力や対応力に秀でた人材を育成していくことが求められます。加えて、私は、こんな時代だからこそ、失敗や挫折をしても何度でも立ち上がり夢に挑戦し続けることができる強い心を持つとともに、高いコミュニケーション力と豊かな人間性や感性を有した生徒を育てていきたいと思っています。そして「相生高校から世界へ」という崇高なスローガンのもと、地域や日本だけでなく世界各地で活躍できる人材となって羽ばたいて欲しいと願っています。

最後になりましたが、相門会会員の皆様のご活躍を祈念申し上げますとともに、なお一層のご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

職員異動

転出者

職名	氏名	異動先	職名	氏名	異動先
教頭	八十川洋一	定年退職	教諭	垣見 信三	再任用任期満了
事務長	山内小百合	定年退職／歴史博物館(再任用)	教諭	青木 佑樹	マレーシア派遣(R4.4.1～R6.3.31)
主幹教諭	桑田 卓郎	姫路南高校	校務員	川田 将二	姫路聴覚特別支援学校
教諭	荒内 秀明	姫路南高校	校務員(臨)	吉田 裕子	西脇高校
教諭	長生 達也	播磨農業高校	事務支援員	衣笠 美佐	龍野高校

転入者

職名	氏名	前任校	職名	氏名	前任校
教頭	田中 良夫	明石西高校	臨時講師	松本 尚也	新卒
事務長	栗山 健二	網干高校	臨時講師	外山 諒	明石清水高校
教諭	西山 直輝	新規採用	臨時講師	畑山かおる	大阪府
教諭	菱池 美保	姫路南高校	校務員(臨)	中嶋 秀彰	佐用高校
教諭	山本 佑樹	神崎高校	校務員(臨)	小畑 友紀	赤穂特別支援学校
教諭	岩井 勇太	新規採用			



「ぶらり、うね ～相生高校がつなぐ縁」

佐伯 敦 (10回生)

10回生の佐伯です。相生高校を卒業し早三十数年。卒業時には、もうこの相高坂を登ることはないだろうと思いましたが、気づけば息子2人も相生高校にお世話になり、私もPTA役員としてご縁をいただき、またそこから相門会役員のご縁もいただきました。当時の私には、思いもよらなかったご縁です。

そんな私は今、相生の隣、赤穂市有年で「うね地区まちおこし隊」としてボランティア活動を行っています。

赤穂市有年地区では現在、相生から有年までの国道2号線拡幅工事が進み、またそれに伴う区画整理やJR有年駅の建て替え工事が行われました。全国的な問題となっている少子高齢化や空き家対策などは、有年地区もご多分にもれず大きな課題となっています。しかし、古代の遺跡や自然が多く、また交通の便も良いところは有年地区の大きな魅力です。

私は「うね地区まちおこし隊」の営業担当として、有年の魅力発信に努めています。

昨年度には、その魅力発信のツールとしてホームページ制作を計画しました。「若い方にも見てもらえるようなホームページを作りたい」そんな私たちの思いを叶えてくださったのは、相生高校情報メディア部コンピューター班の皆さんでした。

何度も有年にまで足を運んでいただき、取材、撮影をした素材を基に、素晴らしいまちおこしサイト「ぶらり、うね」



を作ってくださいました。掲載施設の選定にはじまり、写真撮影、記事原稿、デザイン、サイト名、ロゴ等すべてコンピューター班の皆さんが作ってくださいました。ピュアで爽やかな感性あふれるサイトです。是非一度ご覧ください。

まちおこし隊の活動をしていく中で、新たな課題が見つかったり、活動が思ったように進まないこともあります。しかし、その時々には様々な方との出会いがあり、違う解決方法や進め方などをご指導いただいています。小学生のご意見や、80代の方からのご教示、地域外の方より寄せられる励ましのお言葉。ももとは「地域への恩返し」と思い始めたボランティア活動ですが、今では私自身の学びの場になっています。相生高校が繋いでくれた情報メディア部さんとのご縁、そして情報メディア部さんが作ってくださったホームページから繋がった方々のご縁に感謝し、今後ますますまちおこし活動に尽力して参ります。

情報メディア部の皆さん、ありがとうございました。



剣道と私

立見 顕久 (12回生)
三井住友海上火災保険(株)

先日、帰省時に剣道具を担いで相高剣道部を訪問したのをきっかけに、「うてな」へ寄稿させて頂く事になりました。

私が在校時は、鉛筆を持つ時間よりも竹刀を持つ時間の方が長かった為、卒業後の母校訪問時は職員室を通過して剣道部に足を運ぶ事が多い様に思います。

先日の剣道部の稽古では、20名の全部員と稽古が出来、更には剣道部顧問の山本俊二先生にも直接ご指導頂き、大変充実した時間を過ごす事が出来ました。山本先生は、相高6回生卒で剣道部のOBです。大学では剣道の強豪大学に進学なされ、専門的な剣道の知識と技と礼法を勉強された方です。また、私が在学時に、偶然にも先生が教育実習で相校に来られて、直接ご指導頂いたというご縁もあります。

剣道の理念に「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」とあります。また、元帥海軍大将の山本五十六の名言に「やってみせ、言って聞かせ、させてみせ、ほめてやらねば人は動かじ」ともあります。

現役の高相剣道部員が笑顔で一生懸命稽古に取り組む姿があったのも、山本先生のこのようなご指導があるからこそだと確信しました。

元警視庁名誉師範の剣道範士八段森島健男先生のお言葉に「剣道が上達するのに一番大事なことは、いい師匠につくこと」という言葉どおり、現在の相高剣道部員は恵まれた環境下で高校生活を謳歌している姿をOBとして大

変嬉しく思います。

現在、私は損害保険会社の三井住友海上に勤務しており、宮城県石巻市で5年目を迎えます。転勤族の為、全国を飛び回っておりますが、各地の方々には大変お世話になっております。石巻は、ご存知のとおり東日本大震災で大きな被害にあいましたが、復興に向けて石巻の皆さんが本当に頑張っている姿をみて、私も一助となればと思っております。石巻の方とも剣道で交流を深め、いつも地元の先生方や少年剣士と一緒に稽古に励んでいます。

私は父の影響で小学2年生から剣道を始めて、現在50歳になった今でも続けております。戦績では、大学時代は関西個人優勝、全国3位。社会人になり、全日本実業団大会では団体優勝6回、個人3回優勝する事が出来、この度合格率1%未満の八段審査で合格する事が出来ました。

これもいい師匠に恵まれた事。そして老若男女の剣士と交剣する事で、色々な方との出会い、学びがあったお陰だと思っております。

これからも体が動く限り剣道を続けて「人間形成」の修行を継続していきたいと考えております。

最後に、更なる相生高校の発展と同窓生の方々のご活躍をお祈り申し上げます。





大学生になって

松本 友樹 (43回生)

大学入学から数カ月がたち、自分の将来の夢に向かっていくことを実感でき、とても充実した毎日を送っています。しかし、大学に入学した当初は不安が多くありました。初めての一人暮らしで掃除や洗濯、料理など身の回りのことをすべて自分ですることが求められ、分からないところだらけで苦勞しました。コロナウイルスの影響もあり、対面で行われる予定であった授業がオンライン開催になるなど、想定していた大学生活とは違うところもありました。

しかし、この状況下で新たに身につけられたことがあります。それは、「自分から行動すること」です。大学での授業や課題は高校の時とは違い、自分で計画をし、積極的に動いていかなければなりません。大学生は自由なところが多い分、責任も伴ってきます。自由だからこそ、自分で何を優先していくべきなのか、何をしなければいけないのかを常に考えて行動できるよう

になりました。

また、自分の興味のある分野について自分次第で学びを深めることができることも大学で学ぶことの大きな魅力です。私は、大学では教育学部に所属しています。授業の中で実際に小学校を訪問し、先生たちが授業をするうえで何を大切にしているのかを学び、また子供たちはどんな様子で授業を受けているのかを見ることができました。そのような活動を通して、これからの大学生活で学んでいきたいことが見つかりました。後期にはより専門的な授業や領域選択などがあります。大学で新たにできた周りの仲間と共に支え合いながら頑張っていきたいです。さらにまた講義だけでなく、地域のボランティア活動などたくさんの方に挑戦していき、自分の経験を積んでいきたいと考えています。その中で得られた経験や努力したことは必ずこれからの自分の人生において大いに役立つと思うからです。

そしてそれらの活動を通じて自分から行動する力を身につけ、これから先の大学生活をより充実した、有意義な4年間にしたいと考えています。

最後に、相門会の皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

母 校 だ よ り

2022 DEC. | utena | vol.26

学校行事

今年度はコロナ禍のため開催されていなかった行事が3年ぶりに開催されるようになりました。

- 4月15日に3年生はUSJに一日遠足に行き、2年生は相生市役所とペーロン協会の皆様からご指導いただいてペーロン競漕体験を実施しました。(写真は表紙に掲載)
- 4月27日に1年生は神崎郡にあるグリーンエコー笠形において、カレー作りやクラス対抗大縄跳びなどの野外活動を行い、クラスの親睦を図りました。(写真は表紙に掲載)
- 5月29日、伝統100年を記念する相生ペーロン祭に地元高校を代表して、相生高校・相生産業高校の合同チームを結成し、オープンレースに12名の生徒が参加しました。また生徒会のメンバーが大会のボランティアとして参加しました。相生市が推進する次世代交流事業「ペーロン祭」への参加を通して、地域を牽引する高校生としての役割を学ぶことができました。
- 6月17日(金)・18日(土)に相高祭が開催されました。3年ぶりの2日間での開催でした。弦楽部(箏曲班・クラシックギター班)・吹奏楽部の演奏、文化部の展示、1年生のダンス選手権、2年生のクラス劇、3年生の食品バザー、2・3年生のアトラクションバザーが行われました。但し、コロナ対策のため保護者並びに一般の方の入場は御遠慮願いました。



ステージ部門
最優秀賞2年3組
『花咲けばっかーん！
～はななっぱと愉快な仲間たち～』



吹奏楽部



食品バザー部門最優秀賞3年4組
『ハッピーパンケーキ』



アトラクションバザー部門最優秀賞
2年4組『あつまれ!ちゃんばらの森』

令和4年5月30日～6月10日まで1名の卒業生が教育実習のため、母校にもどってきました。

40回生 中田蒼子（地歴・公民）

私は、2週間の教育実習を通して、教員という人生を垣間見ることができました。

教員の仕事は、想像の何倍も楽しいものだったと同時に、何倍も大変なものでした。50分の授業のためにその何倍もの時間をかけて準備をしていること。生徒たちに興味を持ってもらうにはどのような話や発問をすればよいか、どんな教材を使うかなど様々な考えを巡らせて工夫を凝らして授業構成していること。授業には、板書の文字の大きさ、バランスやまとめ方などの丁寧さ、声の大きさといった技術。発問を通して生徒と対話をする。これらを実践するのは難しいものでした。また、新課程で求められている授業形態と、私達の受けていた授業との違いに戸惑いも大きかったです。しかし、ある程度慣れてくると、生徒の前で授業をすること、生徒とコミュニケーションをとるということを「楽しい」と感じるようになりました。「高校の教員になりたい」という思いを強くした瞬間でした。

1人での実習は、母校とはいえ心細いときもありました。しかし、その分教科や学年を超えて、多くの先生と一対一でじっくりお話する機



会に恵まれたと思います。先生方それぞれに授業や生徒との向き合い方や考えがあり、深く感銘を受けました。

私の方を向いて真剣に話を聞いてくれた子、「先生の授業わかりやすかったです」と言ってくれた子、「頑張ってください!」と応援してくれた

子たち、元よく挨拶してくれた子たち、話しかけてくれた子たち。君たち皆に支えられました。ありがとうございます。相生高校は決して楽なところではないと思います。しかし、「楽しい」と思えるかどうかは皆さん次第です。友達や先生と話す時間、部活動、好きな教科の授業、勉強、学校行事、生徒会活動…なんでも構いません。自分なりの「楽しい」ポイントを沢山見つけて、素敵な高校生活にしてください。私もよい教員になれるようこれからも努力を続けていきます。一緒に頑張りましょう!

- 6月23日、早朝より、相生駅前で生徒会と1年生20名による「さわやか挨拶運動」、学校付近の10カ所の地点で職員とPTAによる「合同街頭指導」が行われました。また、生徒会のメンバーは駅周辺のゴミ拾いを行いました。「さわやか挨拶運動」は定期的に、年10回実施する予定です。



- 7月7日、相生高校を代表して旧・現の生徒会長と副会長が谷口芳紀相生市長を訪問し、ウクライナ募金を手渡しました。6月の相高祭から7月下旬まで生徒会を中心に募金活動を実施し集まった、総額31,285円を渡すとともに、今後も相生市に貢献できる活動を考え、積極的に取り組みたいと伝えました。



- 9月21日、「獅子奮迅」のスローガンのもと、第46回体育大会が開催されました。この2年間は規模を縮小して半日開催でしたが、3年ぶりの1日開催となりました。各クラス色分けされたオリジナルTシャツを着用し、すべての競技で熱戦が繰り広げられました。1年生の学年演技や部活動行進、クラス対抗の大縄跳びや綱引きなど、全員が一致団結して精一杯取り組むことができました。コロナ感染予防のため保護者に見ていただくことはできませんでしたが、それぞれが思い出になったのではと思います。



1年生学年演技



運動部行進



綱引き 1位 3年2組



クラス旗 1位 3年5組

学校行事

● 10月6日～9日、2年生が北海道トマムに修学旅行に行きました。植松電機でのロケット製作、ラフティングやカヌー、ガラス工房やパン工房などの体験プログラム、富良野自然塾での学習プログラム、札幌・小樽観光などそれぞれが計画に従って班別に行動し、多くの思い出を作ることができました。



～県立学校環境充実応援プロジェクト～

母校の後輩たちの教育環境整備のため寄附金を募集しています！

兵庫県は「ふるさと納税」の制度を活用して、教育の一層の活性化を図るため平成28年度から「県立学校環境充実応援プロジェクト」を実施しております。教育の一層の活発化を図るため、学校毎に寄附金活用事業を設定し、学校機能向上、学校の特色づくりや部活動の応援、教育環境の充実等に充てます。相生高校では、本年度次の2つの事業テーマで寄附金を募集します。

- ① 新しい時代に対応した教育環境の充実
体育館での講演会等を、各教室から視聴し、リモートで参加できるよう機器を購入し整備します。
- ② 地域に開かれた学校～学校PR活動の充実～
学校名表示看板、懸垂幕昇降機等を購入し、学校から地域に情報を発信するとともに、部活動等で頑張っている生徒を応援します。

- * 寄附金は税控除の対象になります。
寄附された額のうち2,000円を超える部分については、一定の上限まで、所得税・個人住民税から全額控除されます。つまり実質2,000円で母校支援のサポーターになれます。
- * 給与所得者はワンストップ特例制度を活用すると確定申告が不要になり便利です。
- * 5万円以上の個人寄附をいただいた方（兵庫県民は対象外）には、兵庫ゆかりの産品などをプレゼントします。（現在返礼品を選定中です）
- * 寄附方法は金融機関での振込み、学校窓口への現金持参、現金書留で郵送等選ぶことができます。
- * その他、クレジットカード、マルチペイメント払いも可能です。
ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」から寄附の申し込みと決済手続きをお願いします。

趣旨にご賛同いただけましたら、まずは学校までお電話ください。よろしくお願いたします。

☎0791-23-0800

令和4年度 11月までの部活動活動報告

部活動名	大会名	種目	順位・戦績・賞名等	記録等
男子ソフトテニス部	たつの市民大会ソフトテニス競技高校男子の部	男子個人戦	第3位	
	令和4年度西播地区研修大会	男子団体戦	第2位	
女子ソフトテニス	相生市民ソフトテニス大会 女子・壮年の部	女子個人戦	第1位	
	第71回赤穂市民総合体育祭 ソフトテニス大会 壮年・女子混合2部	個人戦	第1位	
	第71回赤穂市民総合体育祭 ソフトテニス大会 壮年・女子混合2部	個人戦	第2位	
少林寺拳法	令和3年度後期相生市スポーツ顕彰		スポーツ賞銅賞	
	第66回兵庫県高等学校総合体育大会 兼 第52回兵庫県高等学校少林寺拳法大会	男子単独演武の部	第4位	
	40回兵庫県高等学校少林寺拳法新人大会	男子自由単独演武の部	2位	近畿大会へ
女子バスケットボール部	令和4年度西播高校前期総合体育大会	バスケットボールの部	優秀選手	

部活動名	大会名	種目	順位・戦績・賞名等	記録等
陸上競技部	第75回西播高等学校陸上競技対校選手権大会	男子八種競技	第2位	県大会へ
	第66回兵庫県高等学校総合体育大会	男子八種競技	第5位	
	第75回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会	男子八種競技		
サッカー部	高円宮杯U-18サッカー兵庫県西播リーグ		優秀選手	
	高円宮杯U-18サッカー兵庫県西播リーグ		優秀選手	
吹奏楽部	第69回兵庫県吹奏楽コンクール西播大会	S部門	金賞	県大会へ
	第69回兵庫県吹奏楽コンクール県大会	S部門	銀賞	
情報メディア部 写真班	「西播磨ふるさと文化祭2022」式典の席上で		くすのき賞	
	第46回兵庫県高等学校総合文化祭	写真	優秀賞	全国大会へ
生徒会	2022羅漢の里もみじ祭りかかしコンテスト		審査員特別賞	

令和3年度 進路状況

進路指導部長 三瀬 真弓

2年目を迎えた大学入学共通テストでは、昨年同様、複数の資料、図などから情報を読み取り考察する力が重視され、日常生活の場面を題材にした問題が目立ちました。大学入試センターが公表した平均点を見ると、多くの科目で昨年度より平均点がダウンしており、特に「数学Ⅰ・数学A」（約20点ダウン）、「数学Ⅱ・数学B」（約17点ダウン）の低下が顕著でした。その結果、7科目平均点も過去最低となり、多くの受験生にとって非常に厳しい状況となりました。また、志願者数は昨年並みであったものの、既卒生は過去最少の志願者数となっていることは、コロナ禍による現役志向の表れであると思われます。

大学入試全体としては、昨今の社会情勢から国公立大学の人気は高く、さらにコロナ禍による地元志向、推薦入試での早期進学先決定傾向が継続しています。理系人気は依然として続いており、学部別でみると、理系では医療系（特に薬学部）、文系では法学部志望者が増加し、資格に関連が深い学部には人気が集まっています。

本校の状況については、私立大学には、関関同立大45名、産近甲龍大124名をはじめ、のべ528名が合格しました。また短期大学は12名、各種専門学校は24名が合格しました。国公

立大学には、大阪大学、神戸大学をはじめ66名（うち現役は59名）が合格し、その中には、医学部医学科（鳥取大学）合格者1名が含まれています。大学入学共通テストの平均点ダウンの状況であっても積極的に出願し、最後まであきらめずに粘り強く取り組んだ成果であると思われます。

令和3年度 合格・進学結果一覧表

	合 計		
	現 役	浪 人	計
国 公 立 大 学	59 (52)	7 (7)	66 (59)
私 立 大 学	489 (113)	39 (5)	528 (118)
大学小計	548 (165)	46 (12)	594 (177)
準 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)
国 公 立 短 大	1 (1)	0 (0)	1 (1)
私 立 短 大	11 (1)	0 (0)	11 (1)
短大小計	12 (2)	0 (0)	12 (2)
専 門 ・ 各 種	23 (11)	1 (1)	24 (12)
就 職 ・ 公 務 員	0 (0)	0 (0)	0 (0)
留 学 ・ 予 備 校	6 (6)		6 (6)

※（ ）内は実進学・就職者数 数字は延べ数

令和3年度 主要合格先

《国公立大学》	県立広島大 4	立命館大 8	神戸親和女子大 12	《専門学校》
東京農工大 1	福山市立大 3	龍谷大 25	姫路獨協大 4	姫路医療専門学校 2
京都工芸繊維大 1	山口東京理科大 1	大阪経大 4	兵庫医大 5	姫路医師会看護専門学校 4
大阪大 1	下関市立大 1	大阪芸大 1	兵庫大 6	大阪医療センター附属看護学校 1
神戸大 2	高知工科大 5	大阪経済法科大 1	武庫川女子大 9	姫路赤十字看護専門学校 1
兵庫教育大 2	北九州市立大 1	大阪工大 11	関西福祉大 21	姫路医療センター附属看護学校 4
和歌山大 1	福岡県立大 1	大阪産大 25	関西国際大 1	はくほう会医療専門学校 1
鳥取大 6	長崎県立大 1	大阪電気通信大 1	姫路大 4	尾道看護専門学校 1
岡山大 1		関西大 9	神戸常盤大 6	相生市看護専門学校 4
山口大 1	《私立大学》	関西外大 5	岡山商大 1	明石医療センター附属看護専門学校 1
徳島大 2	成城大 1	近畿大 38	岡山理大 32	兵庫徳誠会歯科衛生士学校 1
香川大 6	専修大 1	摂南大 32	川崎医療福祉大 2	日本コンピュータ専門学校 1
愛媛大 1	創価大 1	桃山学院大 2	吉備国際大 1	神戸ベルエール美容専門学校 1
高知大 1	帝京大 1	関西福祉科学大 1	清心女子大 1	大原簿記専門学校 1
長崎大 1	東京工科大 1	関西学院大 22	環太平洋大 1	神戸YMCA学院専門学校 1
琉球大 2	日本大 1	甲南大 37	広島修道大 2	
三条市立大 1	愛知工業大 1	甲南女子大 4	日赤広島看護大 1	《短期大学》
公立小松大 1	大谷大 3	神戸海星女子大 1	徳島文理大 1	倉敷市立短大 1
都留文科大 1	京都外大 3	神戸学院大 97		関西外大短大部 3
静岡県立大 2	京都先端科学大 2	神戸芸術工科大 5		神戸女子短大 7
兵庫県立大 7	京都産業大 24	神戸女学院大 4		大手前短大 1
島根県立大 2	京都女子大 2	神戸女子大 27		
新見公立大 4	同志社大 6	神戸薬大 5		
岡山県立大 2	佛教大 3	神戸松蔭女子大 3		

令和3年度決算報告

〈一般会計〉 (単位：円)	
収 入	3,962,524
支 出	3,946,119
差 引 残 額	16,405
■収入の部	
前年度繰越金	19,270
入 会 金	3,475,500
会 費	463,433
雑 収 入	4,321
合 計	3,962,524
■支出の部	
生徒活動奨励金	250,000
会 報 発 行 費	1,528,636
事 務 費	32,050
貸 金 庫 手 数 料	9,240
会 議 費	0
総会案内状印刷・郵送費	0
周年行事積立金	200,000
名簿発行準備金	486,193
同窓会館設立基金	1,440,000
予 備 費	0
合 計	3,946,119
■積立金・基金の状況	
同窓会館建設基金	50,635,296
周年事業積立金	1,647,126
名簿発行積立金	0
計	52,282,422

令和4年度予算

〈一般会計〉 (単位：円)	
■収入の部	
前年度繰越金	16,405
入 会 金	3,534,000
会 費	380,000
雑 収 入	9,595
合 計	3,940,000
■支出の部	
生徒活動奨励金	250,000
会 報 発 行 費	1,550,000
事 務 費	70,000
貸 金 庫 手 数 料	10,000
会 議 費	40,000
総会案内状印刷・郵送費	60,000
周年行事積立金	200,000
名簿発行準備金	360,000
同窓会館設立基金	1,370,000
予 備 費	30,000
合 計	3,940,000
■積立金・基金からの取り崩し予定	
同窓会館建設基金・周年事業積立金・名簿発行積立金いずれも取り崩しの予定はありません。	

令和3年度事業報告

- 会報誌「うてな」発行 11月 9,618部発行 (10,150部印刷)
- 同窓会会員名簿発行 10月
- 母校支援事業 (PTAとの共同事業)
 - ・生徒活動奨励金
 - 生徒図書購入、講師謝礼(弦楽部等曲班、ソフトテニス部、バレーボール部)、野球部 黒土、体育館冷水機設置、図書丸ネットバージョンアップ費、芸術鑑賞コロナ対策補助、体育館LAN工事補助、HP作成費用補助、タブレット補修費、少林寺拳法近畿大会・全国大会補助、テニスコート散水栓整備、真砂土、マグランド(塩化マグネシウム)
 - ・教育振興基金(国際交流委員会の29年度未繰越金を原資に平成30年4月設立)
 - 国際理解講演会 7/13リモートにて開催
 - 外務省高校講座 高木昌弘氏 在クリチバ日本国総領事

令和4年度事業計画

- 会報誌「うてな」発行 12月ごろ
- 宛名シール無料提供
- 母校支援事業 (PTAとの共同事業)
 - ・生徒活動奨励金
 - ・国際交流基金
 - ・教育振興基金
 - 国際理解講演会 11月9日(水)
 - 国連UNHCR 広報啓発事業_難民高等教育プログラム担当 芳島昭一氏

会費納入について

いつも会費納入いただきありがとうございます。この「うてな」は、同窓生の皆様の会費で発行しております。できるだけ多くの方々がご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

さて会費は、同封の振込用紙で、ゆうちょ銀行、コンビニ又はLINE Pay 請求書支払いで納入して下さい。会費納入の際に、住所・氏名の変更がありましたら、ゆうちょ銀行の場合は、振込用紙を訂正し、払い込んでいただくと、事務局への連絡は必要はありません。また、メッセージがありましたら、あわせてお書きください。なお、コンビニ扱いの場合は、会費納入のみで、住所・氏名の変更、メッセージの受付はできませんので、変更の必要のある場合は、事務局へご連絡ください。

- 住所変更等の連絡先：同窓会名簿発行事務局
小野高速印刷㈱ 〒670-0933 姫路市平野町62
☎フリーダイヤル：0120-66-7754
FAX：0120-81-2299
- ホームページ(同窓会++) <http://dousou.info>
TOPページ「住所変更はこちら」より
- 携帯電話登録フォーム 右のQRコードより →



43回生 相門会幹事 (相生高校の同窓会は「相門会」と名付けられています)

	1組	2組	3組	4組	5組
43回生	坂木 楓 さかき かえで	西尾 康汰 にしお こうた	☆肥塚 匠海 こえづか たくみ	大町 奏登 おおまち かなと	和田 祐輝 わだ ゆうき
	☆伊勢真由子 いせ まゆこ	曾谷 雛乃 そたに ひなの	松本 菜那 まつもと なな	土井 風音 どい かざね	山崎 彩羽 やまざき いろは

☆印は代表幹事

総会報告

令和4年度 同窓会役員改正

役 職	氏 名	回 生	役 職	氏 名	回 生
会 長	芦谷 得夫	1			
副会長	大西 康之	1	副会長	志茂 邦彦	2
	軀川 法宏	2		西角 隆行	4
	佐伯 敦	10			
会 計	中部 修一	2	会 計	山内小百合	1
	浮田さおり	3			
書 記	宮崎真哉子	2	書 記	大石 雅嗣	11
会計監査	福岡 章代	1	会計監査	森中 江美	8
校内幹事	岸本 由樹	3	校内幹事	山本 俊二	6
	射延 章浩	8		藤岡 裕介	11
	兼田 淳平	34			

編集後記

今年相生市は長崎よりペーロン伝来100周年を迎えました。3年ぶりに開催されたペーロン祭に相生高校からも有志を募り、相生産業高校の生徒と共に参加させていただきました。また4月に行っていた2年生のペーロン乗船体験も3年ぶりに実施できました。改めて日常の大切さを実感するとともに地域の方々や同窓生の方々のご支援に感謝致したいと思います。

現在、学校生活はまだ様々な制約がありますが通常の形に戻りつつあります。文化祭や体育大会も保護者の見学は御遠慮いただきましたが、それ以外はコロナ禍前の形に戻すことができました。全

校集会も体育館に全学年一堂に会して行っています。これからもこの状態が続いてくれることを願ってやみません。

令和4年度の「うてな」に投稿いただいたの方々、お忙しい中まことにありがとうございました。心より御礼申し上げます。相生高校創立50周年まで5年を切りました。ただ、少子高齢化が加速する中、西播磨地域の高等学校にも統合・再編の波が押し寄せてきています。相生高校と相門会の活動がますます発展していきますよう、今後とも何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。